

校友会 史跡クラブ 行程表

日程 9月10日(火) 《雨天決行》
活動場所 横須賀(猿島探訪 ～ 軍港巡り)
集合時間：場所 8時00分(時間厳守)：東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算 乗船料他 ￥2,900(交通費・昼食代別途)
行程概要(午前) 池袋 8:14 ～ 横浜 8:58
(メトロ副都心線急行：元町中華街行)
横浜 9:06 ～ 横須賀中央 9:37
(京浜急行本線特急：三崎口行)
三笠桟橋 10:30 ～ 猿島(島内巡り) ～ 三笠桟橋
市内散策(どぶ板通り) ～ 昼食(自由食)
(午後) 汐入ターミナル(軍港クルーズ) 15:00～15:45
汐入 16:30 ～ 横浜 17:02
(京浜急行本線特急：品川行)
横浜 17:19 ～ Jr池袋 17:59 池袋にて解散
(JR湘南新宿ライン快速籠原行)

※① 朝、池袋で乗る電車は川越市始発7:21の副都心線急行です。池袋で集合せず電車に乗りっ放しで横浜駅で降りたホーム合流もOKです。参加申し込みの際に通知して下さい。川越7:23・新河岸7:26・上福岡7:29

※② 今回は、猿島への船の予約が不可なため、猿島巡りと往復の時間が読めず昼食の予約が入れられず、自由食となります。

● 猿島

猿島は横須賀の三笠公園の沖合い1.75kmにある、周囲1.6kmの小さな無人島で、幕末の弘化4年(1847)に国内初の台場が築かれたが、明治に入ると軍の所管となり猿島砲台が築造され、東京湾防衛の一角を担った。この砲台が実戦に用いられたことはないが、島内の岩壁を掘ってフランドル積みという煉瓦で覆った、要塞跡は今も残っている。

● どぶ板通り

横須賀市中心部にある全長300m程の商店街通りで、戦前にはこの通りにドブ川が流れていたが、海軍工廠から分厚い鉄板の提供を受け、蓋をしたことから「どぶ板通り」と呼ばれるようになった。商店街は正式には本町商店会という。戦後は進駐軍、在日アメリカ横須賀海軍施設の兵隊向けに、土産物店・バー・飲食店やテラーショップ等が立ち並んだ。ベトナム戦争の頃に最盛期を迎え、夜は地元の人間以外の日本人は、中々立ち入れない場所であった。現在ではアメリカと日本の文化が融合した独特の雰囲気の商店街として栄え、横須賀発祥の「スカジャン」やミリタリーショップの専門店や雑貨店等が若者や観光客に人気を博している。

● 横須賀港

横須賀は東京湾の入口にあり、幕末には黒船が浦賀沖に来航し、ペリーが久里浜に上陸する等、古くから江戸・東京の玄関口となってきた。明治以降は海軍の横須賀鎮守府が置かれ軍港として発展する。現在も海上自衛隊の横須賀基地と、アメリカ海軍第7艦隊の基地があり、軍港の側面を持っている。

一方商業・工業面での港としては、幕末の慶応元年(1865)に、時の勘定奉行小栗上野介忠順が、近代海軍の整備が急務と訴え、フランス海軍の技師レオンス・ヴェルニーを招き、日本で初めての近代的な総合工場「横須賀製鉄所(明治4年造船所に改称)」の建造を始めたことによる。現在この施設は在日米軍施設に取り込まれており、幕末に造られたドッグは未だ使われている(造船はしていないが、修理に使用)。現在の主な輸出品は自動車で、全体の90%を占める。主な輸入品は原子力発電の燃料のウラン等の放射性元素が70%近くを占める。また魚介類の取り扱いも多く、特にマグロは国内有数の取扱量を誇る。

※ 持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ